

保存版

京都市

地震

ハザードマップ

伏見区版

花折断層地震が起こると…

このマップは、伏見区に最も大きな被害をもたらすと想定されている「花折断層地震」の震度分布を示し、その被害と避難についてまとめたものです。

花折断層地震が起こると、伏見区ではほとんどの地域で震度6強が予想され、家屋倒壊、火災発生、人的被害、ライフラインの機能停止など、大きな被害が想定されています。

いざというときのために、自宅、学校、仕事場など普段の生活の場とその付近の震度、地域の集合同所、広域避難場所、避難所の位置と道順などを確認しておきましょう。

花折断層地震で想定される被害 (京都市第4次地震被害想定)			
	伏見区	京都市全域	
建物被害	全壊棟数	18,000 棟	121,000 棟
	半壊棟数	20,000 棟	111,000 棟
人的被害	死者	700 人	4,100 人
	負傷者	9,900 人	53,000 人
避難者	全避難者	47,000 人	206,000 人
	避難所内	38,000 人	165,000 人
	避難所外	9,500 人	41,000 人

<京都市全域のライフライン被害>			
電力	停電率	約 7.2 %	(復旧まで約1週間)
上水道	断水率	約 62.9 %	(復旧まで約1ヵ月)
下水道	機能支障率	約 7.5 %	(復旧まで約1ヵ月)
通信 (固定電話)	不通率	約 13.8 %	(復旧まで約1週間)
通信 (携帯電話)	停波基地局率	約 20.0 %	(復旧まで約1週間)
都市ガス	供給停止率	約 89.7 %	(復旧まで約1.5ヵ月)

凡例

広域避難場所

地震に伴う大火災等の二次災害の危険から地域住民の生命の安全を確保できる屋外の広い場所をいいます。

指定避難所

災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、又は災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設をいい、小学校の体育館などが指定されています。

警察

消防

官公庁

国宝・世界遺産

JR

私鉄

地下鉄

河川・池

緊急輸送路

緊急輸送路は、災害時に一般車両の通行が規制されることがあります。

土砂災害警戒地域

土砂災害特別警戒地域

防災メモ

地震のときに避難する場所を家族みんなで確認しておきましょう。

地域の集合同所

指定避難所

広域避難場所

※ 上記避難先の説明については裏面に記載しています。

